

## 1 本書の構成について

本書は、次のような構成になっています。

### 第1章 関数の利用

数値の四捨五入・切り捨て・切り上げ、条件による分岐、日付の計算、該当データの参照など、よく利用される関数を解説します。

### 第2章 表作成の活用

条件付き書式の設定、入力規則の設定、コメントの挿入、シートの保護など、表を作成する際に知っておくと便利な機能を解説します。

### 第3章 グラフの活用

複合グラフや補助グラフ付き円グラフ、スパークラインを作成する方法を解説します。

### 第4章 グラフィックの利用

SmartArtグラフィックや図形、テキストボックスを作成したり、テーマを設定したりする方法を解説します。

### 第5章 複数ブックの操作

複数のブック間でセルを参照したり、データを統合したりする方法を解説します。

### 第6章 データベースの活用

データを集計したりテーブルを作成したりして、データベースを活用する方法を解説します。

### 第7章 ピボットテーブルとピボットグラフの作成

ピボットテーブルやピボットグラフを作成して、データを多角的に集計・分析する方法を解説します。

### 第8章 マクロの作成

マクロの概要を確認し、基本的なマクロを作成・実行する方法を解説します。

### 第9章 便利な機能

検索や置換、ブックのプロパティの設定や問題点のチェックなど、ブックを仕上げるときに役立つ便利な機能を解説します。

### 総合問題

Excelの実践力と応用力を養う総合問題を記載しています。

### 付録1 ショートカットキー一覧

知っている便利なExcelのショートカットキーを記載しています。

### 付録2 コマンド対応表(Excel 2003→Excel 2010)










Excel 2003のコマンドがExcel 2010のコマンドにどのように対応しているかを記載しています。

### 付録3 関数一覧

Excelの代表的な関数について解説します。

## 2 本書の記述について

操作の説明のために使用している記号には、次のような意味があります。

記述	意味	例
	キーボード上のキーを示します。	 
 + 	複数のキーを押す操作を示します。	 +  (  を押しながら  を押す)
< >	ダイアログボックス名やタブ名、項目名など画面の表示を示します。	《セルの書式設定》ダイアログボックスが表示されます。 《挿入》タブを選択します。
[ ]	重要な語句や機能名、画面の表示、入力する文字列などを示します。	「関数のネスト」といいます。 「注文書」と入力します。



**POINT** ▶▶▶

知っておくべき重要な内容



知っている则便利な内容



学習の前に開くファイル

※ 補足的な内容や注意すべき内容

**Let's Try**

学習した内容の確認問題

**Let's Try Answer**

確認問題の答え

**Hint**

問題を解くためのヒント

## 3 製品名の記載について

本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Microsoft Windows 7	Windows 7 または Windows
Microsoft Windows Vista	Windows Vista または Windows
Microsoft Office 2010	Office 2010 または Office
Microsoft Excel 2010	Excel 2010 または Excel

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

索引

## 4 学習環境について

本書を学習するには、次のソフトウェアが必要です。

- Excel 2010
- Adobe Reader

本書を開発した環境は、次のとおりです。

- ・OS : Microsoft Windows 7 Professional
- ・アプリケーションソフト : Microsoft Office Professional Plus 2010  
Adobe Reader

※環境によっては、画面の表示が異なる場合や記載の機能が操作できない場合があります。

## 5 Windows 10対応について

本書は、Windows 7およびWindows Vista環境でExcel 2010を学習する場合の操作手順を掲載しています。Windows 10環境で学習する場合の操作手順の違いについては、当社のホームページに掲載しています。ダウンロードしてご利用ください。

ホームページ・アドレス

<http://www.fom.fujitsu.com/goods/>

ホームページ検索用キーワード

FOM出版

① ブラウザーを起動し、FOM出版のホームページを表示します。

※アドレスを直接入力するか、キーワードでホームページを検索します。

② 《ダウンロード》をクリックします。

③ 《アプリケーション》の《Excel》をクリックします。

④ 《2010バージョン》の《Excel 2010 応用 FPT1004》をクリックします。

⑤ 《Windows 10ユーザー向け補足資料》の《fpt1004 for win10.pdf》を右クリックします。

⑥ 《対象をファイルに保存》をクリックします。

⑦ 《名前を付けて保存》ダイアログボックスが開きます。

⑧ 保存先を指定し、《保存》をクリックします。

# 6 効果的な学習の進め方について

本書の各章は、次のような流れで学習を進めると、効果的な構成になっています。

## 1 学習目標を確認

学習を始める前に、「この章で学ぶこと」で学習目標を確認しましょう。  
学習目標を明確にすることによって、習得すべきポイントが整理できます。

Chapter 1 この章で学ぶこと

学習前に習得すべきポイントを理解しておき、学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

1	関数を使って、指定した桁数で数値を四捨五入できる。	□□□ P.14
2	関数を使って、指定した桁数で数値を切り捨てることができる。	□□□ P.15
3	関数を使って、指定した桁数で数値を切り上げることができる。	□□□ P.15
4	関数を使って、指定した範囲内で順位を求めることができる。	□□□ P.18
5	関数を使って、条件がひとつの場合、複数の場合、それぞれに沿った処理を実行できる。	□□□ P.22
6	関数を使って、条件に一致したデータの個数を求めることができる。	□□□ P.27
7	関数を使って、コンピューターの日付をブックに表示できる。	□□□ P.29
8	関数を使って、2つの日付の差を求めることができる。	□□□ P.30
9	関数を使って、参照用の表から該当するデータを求めることができる。	□□□ P.33

## 2 章の確認

学習目標を意識しながら、Excelの機能や操作を学習しましょう。

STEP 2 関数の概要

### 1 関数

「関数」とは、あらかじめ定義されている数式です。演算記号を使って数式を入力する代わりに、カッコ内に必要な引数を指定することによって、計算を行います。

`=関数名(引数1, 引数2, ...)`

- ① 先頭に「=」(等号)を入力します。
- ② 関数名を入力します。  
※ 関数名は、英大文字で入力しても英小文字で入力してもかまいません。
- ③ 引数をカッコで囲み、各引数は「,」(カンマ)で区切りします。  
※ 関数によって、指定する引数は異なります。

### 2 関数の入力方法

関数を入力する方法には、次のようなものがあります。

- **Σ (合計) を使う**  
[SUM][AVERAGE][COUNT][MAX][MIN]の各関数は、**Σ** (合計) を使うと、関数名やカッコが自動的に入力され、引数も簡単に指定できます。
- **f\_x (関数の挿入) を使う**  
数式バーの **f\_x** (関数の挿入) を使うと、ダイアログボックス上で関数や引数の説明を確認しながら、数式を入力できます。
- **キーボードから直接入力する**  
セルに関数を直接入力できます。引数に何を指定すればよいかわかっている場合には、直接入力した方が効率的な場合があります。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9

総合問題

付録1

付録2

付録3

索引

### 3

## 練習問題にチャレンジ

章の学習が終わったあと、「練習問題」にチャレンジしましょう。  
章の内容がどれくらい理解できているかを把握できます。

本書をご利用いただく前に

Exercise

練習問題

解答 別冊P.1

完成図のような表を作成しましょう。

File OPEN → フォルダー「第1章」のブック「第1章練習問題」のシート「個人打撃成績」を開いておきましょう。  
※アクティブシートを切り替えて、各シートの内容を確認しておきましょう。

第1章  
関数の利用

●完成図

選手名	チーム名	打席	打点	打数	得点	塁打	犠打	犠飛	盗塁	盗塁成功	犠牲打	犠牲フライ	三振	四球	死球	エラー	併殺打	併殺犠打	併殺犠フライ
大谷 翔平	エンゼルス	150	45	500	25	140	10	10	0	10	0	0	150	40	10	0	0	0	0
浅村 悠太	巨人	140	40	480	20	130	8	8	0	8	0	0	140	35	8	0	0	0	0
松本 浩二	ソフトバンク	130	35	450	18	120	6	6	0	6	0	0	130	30	6	0	0	0	0
斎藤 佑樹	楽天	120	30	420	15	110	5	5	0	5	0	0	120	25	5	0	0	0	0
和田 孝	オリックス	110	25	380	12	100	4	4	0	4	0	0	110	20	4	0	0	0	0

①セル【C1】に、本日の日付を表示する数式を入力しましょう。

②セル【C4】に、セル【B4】の「チームID」に対応する「チーム名」を表示する数式を入力しましょう。シート「チーム一覧」の表を参照します。  
次に、セル【C4】の数式をコピーして、「チーム名」欄を完成させましょう。

③セル【N4】に、表の1回目の「打率順位」を表示する数式を入力しましょう。「打率」が高い順に「1」「2」「3」…と順位を付けます。  
次に、セル【N4】の数式をコピーして、「打率順位」欄を完成させましょう。

④セル【O4】に、表の1回目の「本塁打順位」を表示する数式を入力しましょう。「本塁打」が多い順に「1」「2」「3」…と順位を付けます。  
次に、セル【O4】の数式をコピーして、「本塁打順位」欄を完成させましょう。

⑤セル【P4】に、表の1回目の「打率表彰」の有無を表示する数式を入力しましょう。「打率」が3割3分3厘以上であれば「○」、そうでなければ「-」を返すようにします。  
次に、セル【P4】の数式をコピーして、「打率表彰」欄を完成させましょう。

**Hint** 「○」は、「まる」と入力して変換します。

⑥セル【Q4】に、表の1回目の「本塁打表彰」の有無を表示する数式を入力しましょう。「本塁打」が20本以上あれば「○」、そうでなければ「-」を返すようにします。  
次に、セル【Q4】の数式をコピーして、「本塁打表彰」欄を完成させましょう。

※ブックに「第1章練習問題完成」と名前を付けて、フォルダー「第1章」に保存し、閉じておきましょう。

### 4

## 学習成果をチェック

章の始めの「この章で学ぶこと」に戻って、学習目標を達成できたかどうかをチェックしましょう。

十分に習得できなかった内容については、該当ページを参照して復習するとよいでしょう。

Chapter 1

この章で学ぶこと

学習前に習得すべきポイントを理解しておき、  
学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

1	関数を使って、指定した桁数で数値を四捨五入できる。	☑ ☐ ☐ → P.14
2	関数を使って、指定した桁数で数値を切り捨てることできる。	☑ ☐ ☐ → P.15
3	関数を使って、指定した桁数で数値を切り上げることできる。	☑ ☐ ☐ → P.15
4	関数を使って、指定した範囲内で順位を求めることできる。	☑ ☐ ☐ → P.18
5	関数を使って、条件がひとつの場合、複数の場合、それぞれに沿った処理を実行できる。	☑ ☐ ☐ → P.22
6	関数を使って、条件に一致したデータの個数を求めることできる。	☑ ☐ ☐ → P.27
7	関数を使って、コンピューターの日付をブックに表示できる。	☑ ☐ ☐ → P.29
8	関数を使って、2つの日付の差を求めることできる。	☑ ☐ ☐ → P.30
9	関数を使って、参照用の表から該当するデータを求めることできる。	☑ ☐ ☐ → P.33

5



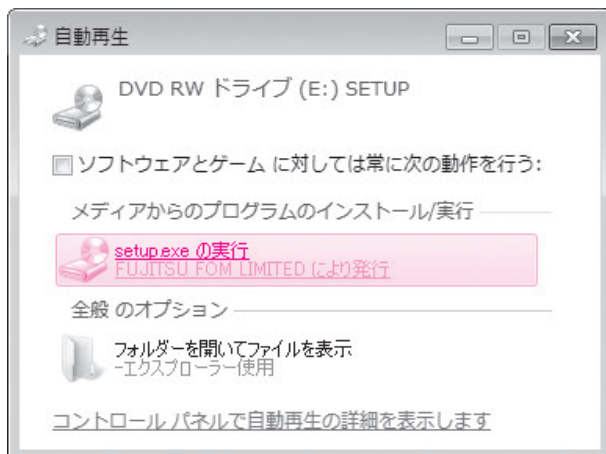
## 7 添付「データCD-ROM」について

本書には、「データCD-ROM」を添付しています。  
このCD-ROMには、次のファイルが収録されています。

- 「第1章」～「第9章」で使用するファイル
- 「総合問題」で使用するファイル

### ◆セットアップ方法

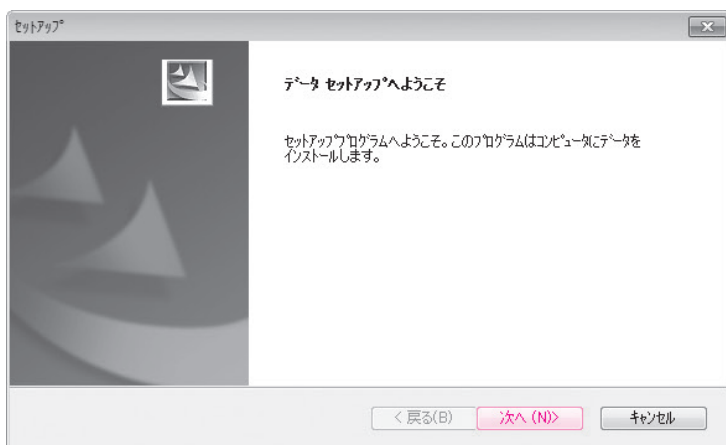
学習の前に、セットアップを実行し、パソコンにファイルをコピーしてください。



①「データCD-ROM」をドライブにセットします。  
《自動再生》ダイアログボックスが表示されます。

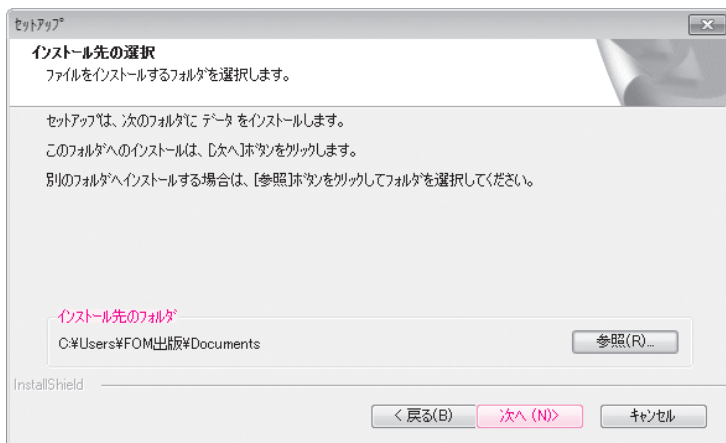
②《setup.exeの実行》をクリックします。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《はい》または《続行》をクリックします。



セットアッププログラムが起動し、《セットアップ》ダイアログボックスが表示されます。

③《次へ》をクリックします。



④《インストール先のフォルダ》を確認します。

※初期の設定では、「Documents」になります。

※ほかの場所にコピーする場合は、《参照》をクリックします。

⑤《次へ》をクリックします。

コピーが開始されます。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

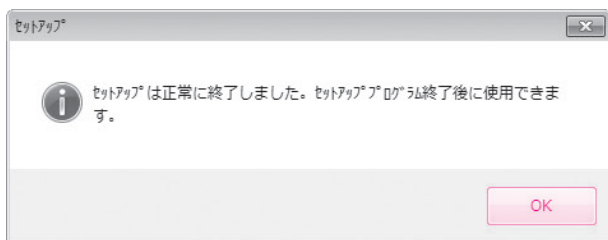
総合問題

付録1

付録2

付録3

索引



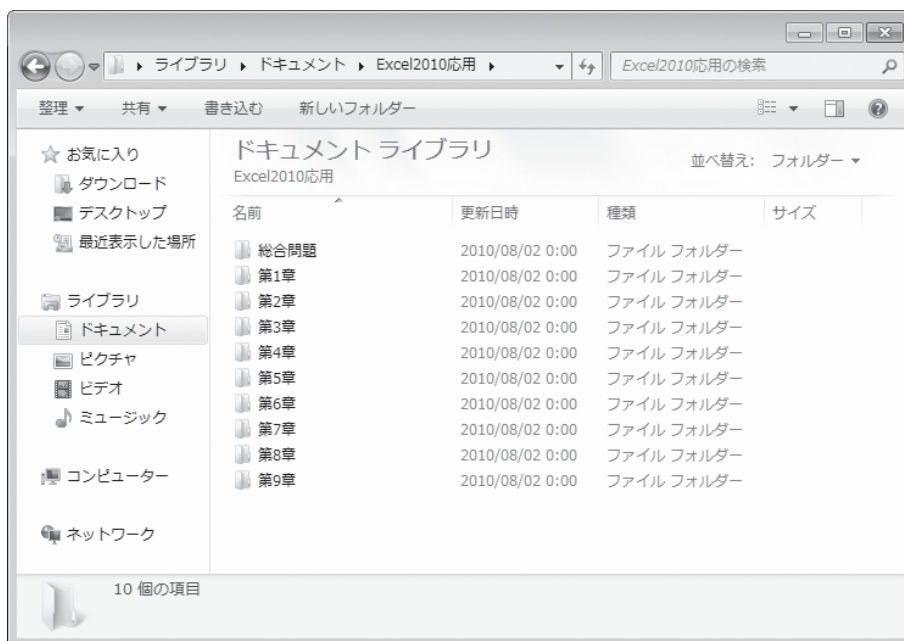
コピーが終了すると、図のようなメッセージが表示されます。

⑥《OK》をクリックします。

※「データCD-ROM」をドライブから取り出しておきましょう。

## ◆コピー内容の一覧

セットアップが完了すると、《ドキュメント》にフォルダー「Excel2010応用」が作成されます。フォルダー「Excel2010応用」には、次のような内容がコピーされます。フォルダーを開いて確認してください。



※コピーしたファイルはP.14「第1章 STEP3 数値の四捨五入・切り捨て・切り上げを行う」以降で使用します。

## ◆コピー先の場所

本書では、ファイルの場所を《ドキュメント》内のフォルダー「Excel2010応用」としています。《ドキュメント》以外の場所にコピーした場合は、フォルダーを読み替えてください。



### セットアッププログラムが起動しない場合

セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、次の手順でセットアップを行います。

- ① (スタート)をクリックします。
- ② 《コンピューター》をクリックします。
- ③ 《SETUP》ドライブを右クリックします。
- ④ 《開く》をクリックします。
- ⑤ (setup)を右クリックします。
- ⑥ 《開く》をクリックします。
- ⑦ 指示に従って、セットアップを行います。



### 再セットアップの留意点

本書を一度学習したあとに再度学習するときは、フォルダー「Excel2010応用」を削除してから、再度「データCD-ROM」のセットアップを実行します。フォルダー「Excel2010応用」を削除する方法は、次のとおりです。

- ① (スタート)をクリックします。
- ② 《ドキュメント》をクリックします。
- ③ フォルダー「Excel2010応用」を選択します。
- ④ **[Delete]**を押します。
- ⑤ 《はい》をクリックします。





## 8 画面の設定について




本書では、画面解像度を「1024×768ピクセル」に設定した環境を基準に、サンプル画面を掲載しています。

異なる画面解像度では、ボタンの形状や配置が本書と異なる場合があります。本書と同様に設定する方法は、次のとおりです。

※画面解像度を変更すると、デスクトップのアイコンの配置が変更される場合があります。ご注意ください。

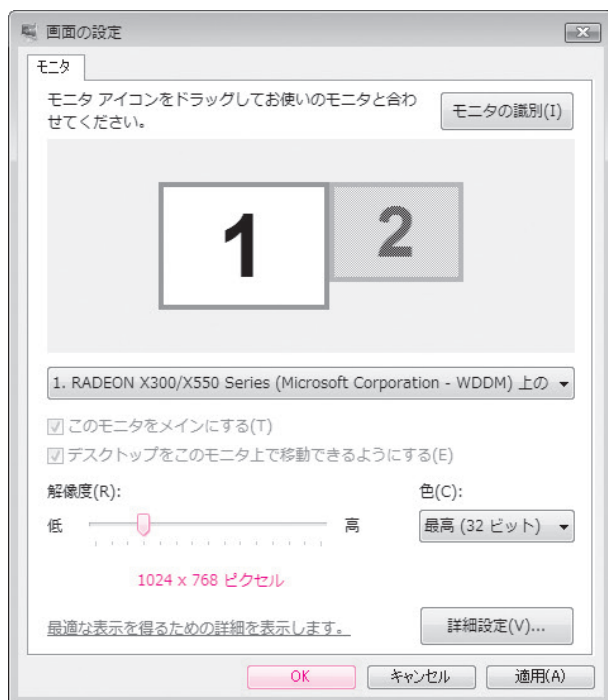
### ◆Windows 7の場合





- ①  (スタート)をクリックします。
- ② 《コントロールパネル》をクリックします。
- ③ 《画面の解像度の調整》をクリックします。
- ④ 《解像度》の  をクリックします。
- ⑤  をドラッグし、《1024×768》に設定します。
- ⑥ 《OK》をクリックします。

※確認メッセージが表示される場合は、《変更を維持する》をクリックします。

### ◆Windows Vistaの場合



- ①  (スタート)をクリックします。
- ② 《コントロールパネル》をクリックします。
- ③ 《画面の解像度の調整》をクリックします。
- ④ 《解像度》の  をドラッグし、《1024×768ピクセル》に設定します。
- ⑤ 《OK》をクリックします。

※確認メッセージが表示される場合は、《はい》をクリックします。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

索引





## 9 デスクトップのデザインについて

本書では、Windowsのデスクトップのデザインを「Windows 7 ベーシック」または「Windows Vista ベーシック」に設定した環境を基準に、サンプル画面を掲載しています。異なるデザインでは、タイトルバーや最大化・最小化などのボタンのデザインが本書と異なる場合があります。

本書と同様に設定する方法は、次のとおりです。

### ◆Windows 7の場合



- ① (スタート) をクリックします。
- ② 《コントロールパネル》 をクリックします。
- ③ 《テーマの変更》 をクリックします。
- ④ 《ベーシックテーマとハイコントラストテーマ》 の《Windows 7 ベーシック》 をクリックします。

※一覧に表示されていない場合は、スクロールして調整します。

### ◆Windows Vistaの場合



- ① (スタート) をクリックします。
- ② 《コントロールパネル》 をクリックします。
- ③ 《色のカスタマイズ》 をクリックします。  
※《色のカスタマイズ》がない場合は、《配色の変更》をクリックします。
- ④ 《詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン]プロパティを開きます》 をクリックします。  
※環境によって、この画面は表示されない場合があります。
- ⑤ 《配色》の一覧から《Windows Vista ベーシック》を選択します。
- ⑥ 《OK》 をクリックします。